

## 試験研究（中間）評価整理表

試験研究機関名 林業研究センター

所 管 グ ル ー プ 研究開発グループ

整理番号	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	理由	外部評価アドバイザー意見
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
1	21世紀の豊かな森林、活力ある林業・木材産業づくり	本県に適した高品質で優良な品種の開発と家畜の改良	マツノザイセンチュウ抵抗性マツの育種と効率的な増殖に関する研究	抵抗性マツの大量生産技術を確立するとともに、海岸砂地など劣悪環境下でも生存でき、さらに高い抵抗性も維持できる抵抗性マツを生産する。	人工交配によって抵抗性個体の作出を行う。また、現在の採種圃の改良法や抵抗性個体のクローン増殖法、抵抗性の簡易検定法を開発する。さらに、菌根菌を感染させた抵抗性マツ増殖技術を開発する。	H18	H22	A	劣悪な環境下でも高い抵抗性が維持できるクロマツの生産技術を確立するためには、本課題を優先して拡充する必要がある。	抵抗性マツの育種等を効率的に実施するためには、抵抗性の簡易検定法の確立が優先されるべきと思われるので、年次計画においても早い段階での確立が求められる。
2	21世紀の豊かな森林、活力ある林業・木材産業づくり	付加価値の高い農林水産物生産・加工技術開発	ナメコ有効成分を増強する栽培技術	ナメコの有効成分を検索解明し、併せてこれらを強化する栽培法を開発することにより本県産ナメコの差別化を図り、有利販売に結びつける。	ナメコの有効成分を評価し、ナメコで優位性を持つ成分の特定を行った。現在、その特定成分を強化する栽培法の検討を行っている。県が保有しているナメコ育種母材からより高い食品機能性を持つ新たな品種を作出する。	H16	H20	B	今後も、計画どおり交配株の栽培試験を行う必要がある。	この食品の一大産地は福島県という評価が得られるような、生産者に活力を与えるような食品の作出のため、経済性検証で確かな実績を得ていただきたいと思えます。
3	21世紀の豊かな森林、活力ある林業・木材産業づくり	県土の多目的機能発現のための森林環境管理技術の開発	森林構成と土砂流出防止効果	上流域の森林の状態と土砂流出量の関係を明らかにし、治山事業計画や森林整備に反映させるとともに、土砂流出防止機能を住民、県民に広報する。	治山ダムの調査検討を行い、試験対象箇所を選定した。今後、森林整備が林地の土砂流出や治山ダムへの土砂流出量に及ぼす影響を調査、解析する。	H16	H25	C	調査箇所が限定され、目的である県民への広報は困難となったが、得られるデータは基礎的なものとして貴重であることからデータ収集に変更して実施すべきである。また、新たな調査手法を追加し、期間を短縮すべきである。	新たな調査手法を追加して期間短縮の努力をしたことは適切であると考えます。
4	21世紀の豊かな森林、活力ある林業・木材産業づくり	中山間地域の産業振興を支援するための総合的技術開発	連作地におけるキリ適正管理技術の開発	会津桐資源を確保するため、キリの連作地において植栽苗を健全に育成される土壌の管理方法を確立する。	連作地における土壌の化学性、物理性の変化の調査を行った。今後は、連作障害の原因を解明するとともに土壌改良法及び管理方法について検討する。	H16	H20	C	土壌化学性のバランスが大きく崩れていたことが連作障害の要因の1つとして考えられるため、保肥力を高める施肥試験を追加して行うこととする。	所定の研究計画実施の中で得られた成果を活かした計画改善であり、適切だと考える。